

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	母体組織の理念はあるが、グループホーム独自の理念は無い。グループホーム独自の理念が必要である。	グループホーム独自の理念を作る。(母体の理念のサブタイトルとする)	他施設への研修を実施し理念について理解を深め、GHの会議で理念について提起し検討する。GHの理念の策定後は、これに基づいて運営、サービス提供に取り組む。	6ヶ月
2	2	地域住民の一員として地域における活動や役割があるのか見極めが出来ていない。	グループホーム入居が地域に支えられる側であるという意識を変え、積極的に地域活動に参加し貢献していく事を模索して行く。	運営推進会議や自治協議会、ボランティアグループ等に打診し、入居者の能力や嗜好に添った地域活動を発掘あるいは作り出し、地域の一員としての生活、活動を支援して行く。	6ヶ月
3	35	隣接の特養には、災害に備えた備品等有るが、グループホーム独自には保管されていない。	グループホーム独自で災害備品を準備する。	来年度の予算に災害備品を計上し購入する。	3ヶ月
4					
5					ヶ月